

おおむね6か月未満

発達の様
<p>誕生後、母体内から外界への急激な変化に適応し、著しい発達が見られる。原始反射から自発運動になり、首がすわり、手や足の動きが活発になる。寝返りができるようになり、うつ伏せになると手で身体を支え、胸まで上げられるようになる。視覚、聴覚などの感覚の発達はめざましく、見たものに手を伸ばして取ろうとしたり（目と手の協応）、後ろからの音にも気付いたりする。泣く、笑うなどの表情の変化や体の動き、喃語などで、自分の要求を表現し、これに応答的に関わる大人との間に情緒的な絆が形成される。</p>

養護
<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育室は毎日掃除、消毒を行い、整理整頓して、清潔で安全な環境を整え、安心して過ごせるようにする。 ・ 室内の温度や湿度に気をつけ、衣服調節を行ったり、必要に応じて加湿器や冷暖房器具を使用したりして快適に過ごせるようにする。 ・ 一人ひとりの子どもの平常の健康状態や発育及び発達状態を的確に把握し、異状を感じる場合は速やかに適切な対応をする。 ・ 保護者、保育士間とで連携を密にし、日ごろより子どもの健康状態を把握しておくと共に、身体の状態を細かく観察し、疾病や異状を早期に発見し、適切な対応がとれるようにする。 ・ 子どもの生活を24時間で捉え、一人ひとりの子どもの生活リズムを把握し、安定した生活リズムで過ごせるようにする。 ・ 生活リズムや保育時間などに応じて、食事、睡眠、排泄、あそびのリズムを整えていく。 ・ 口にした玩具は、その都度洗い、日光消毒（煮沸消毒）をして常に清潔なものが使えるようにする。 ・ 乳幼児突然死症候群があることを知り、睡眠中の子どもの様子（呼吸、顔色、仰向け寝、布団のかけ方など）を5分ごとに観察し、記録する。 ・ 保育士等との愛情豊かな関わりにより、安心して過ごせるようにする。 ・ 優しくスキンシップを取りながら、一人ひとりの生理的欲求や依存欲求を満たしていく。 ・ 温かく、穏やかな関わりの中で安心できる保育者ができるようにする。 ・ 発語や喃語に優しく応えたり、泣いているときも笑顔であやしたりしながら、安心できるようにする。 ・ 子どもと目を合わせ、表情を読みとり、一人ひとりの子どもに合った関わりを持つ。 ・ 安心できる保育士等との継続的な愛情ある関わりにより、人との信頼関係を築いていく。 ・ 子どものリズムに合わせ、肉声で歌いかけることで、心地よさを感じられるようにする。

教育に関わるねらいと内容		
	ねらい	内容
健康 ・ 人間関係 ・ 環境 ・ 言葉 ・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全で安心できる人的、物的環境の中で、機嫌よく過ごす。 ・ 安全で清潔な空間、適度な温度、湿度の保たれた室内で、快適に過ごす。 ・ 身体や衣服、オムツなどをきれいにしてもらい、心地よく過ごす。 ・ 一人ひとりに合った生活リズム（食事、睡眠、排泄、あそび）で過ごす。 ・ 安定した生活リズムの中で、食欲が満たされ、機嫌よく過ごす。 ・ 安心して眠れる場所（ほふく室）を保障してもらい、一人ひとりの睡眠時間で、ぐっすり眠る。 ・ 安心できる保育士等とのふれあいを求め、あやされて喜び、声を出したり笑ったりする。 ・ 機嫌のよいときの発語や笑顔に優しく応答してもらいながら、喃語を発する。 ・ 自分の要求を訴えるように泣いたり、声を出したりして表現する。 ・ 安心できる人的、物的環境の中で、見る、触る、聞くなどの感覚のあそびをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 清潔で安全な環境の中、安心できる保育士等に愛情豊かに関わってもらい、安定感を持って過ごす。 ・ 必要に応じて冷暖房器具や除湿・加湿器を使用する。また、保育室は掃除、消毒を行い衛生に努める。 ・ 一人ひとりの子どもの健康状態を把握し、異状のある場合には適切な対応をする。 ・ オムツ交換や衣服の着脱、沐浴などで清潔にしてもらい、心地よさを感じる。 ・ 落ち着いた雰囲気の中で、安心できる保育士等に抱かれ喜んでミルクを飲む。 ・ ミルクを飲んだ後は、優しく声をかけてもらいながら口の周りを拭いてもらうことで、気持ちよさを感じると共に、終わり（ごちそうさま）がわかる。 ・ 子どもの状態に合わせて、離乳食の準備（スプーンでお茶や白湯を飲ませてもらう）を始める。 ・ ほふく室とあそびの空間を分けることで、睡眠やあそびの保障をする。 ・ 一人ひとりの子どもの生活リズムの中で、安心して眠り、機嫌よく目覚める。 ・ 優しい語りかけや、抱かれる心地よさを感じる。 ・ 安心できる保育士等の声や歌いかけに反応し、笑顔を向けたり、「アー」「ウー」など声を出したりする。 ・ オムツ交換時や衣服の着脱時に、赤ちゃんマッサージ等をする。 ※赤ちゃんマッサージの説明は裏面 ・ 安全な環境の中で仰向け、うつ伏せ、寝返り、支え座り等であそぶ。 ・ 布オムツが汚れたり、お腹がすいたりしたら泣いて知らせる。 ・ 目の前の玩具を目で追ったり、手を伸ばしてつかもうとしたりする。 ・ 音の出るおもちゃを喜び、ならしてもらったり、自分で持ったりする。 ・ 手作りの布おもちゃや木製玩具など、手触りの違うものに触れてあそぶ。